

市民環境常任委員会会議記録（概要）

平成24年2月23日（木）

開 会 午前9時0分

小林委員欠席

【議 事】

議案第3号 平成23年度所沢市交通災害共済特別会計補正予算  
（第1号）

【補足説明】な し

【質 疑】

村上委員

共済見舞金について、自転車事故に関する支払件数は増えているか。

越 阪 部 交 通 安  
全 課 長

平成22年度の自転車の自損事故が201人、自転車と車の事故が93人、自転車とバイクの事故が7人、自転車と自転車の事故が34人、自転車と歩行者の事故が3人です。全体の申請者数は585人で、自転車乗用中の事故による申請者数は338人です。

【質疑終結】

【意 見】な し

【採 決】

議案第3号については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

議案第 5 号 平成 23 年度所沢市国民健康保険特別会計補正予算  
(第 2 号)

【補足説明】な し

【質 疑】

荒川委員

財政安定化支援事業繰入金について、繰入基準が改正されたということだが、具体的に伺いたい。

石川国保年金  
課長

繰入れの基準額の確定ということです。もともと財政安定化支援事業繰入金は、保険者の責めに帰することのできない特別な事情がある場合に、県を通して金額が指定され、限定的に一般会計から特別会計に繰入れる法定繰入金です。保険者の責めに帰することのできない特別な事情とは、高齢者の占める割合が多いということで、金額の指定があったものです。

【質疑終結】

【意 見】な し

【採 決】

議案第 5 号については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

議案第1号 平成23年度所沢市一般会計補正予算(第6号)  
市民経済部所管部分

【補足説明】なし

【質 疑】なし

【意見・採決保留】

休 憩 午前9時9分

(説明員交代)

再 開 午前9時10分

議案第1号 平成23年度所沢市一般会計補正予算(第6号)

環境クリーン部所管部分

【補足説明】なし

【質 疑】

岡田委員

東部クリーンセンター費の臨時職員賃金について、正規職員の人数と臨時職員の人数をそれぞれ伺いたい。

廣川東部クリーンセンター施設課長

東部クリーンセンター管理課ですが、正規職員が4名で臨時職員が1名、施設課は、正規職員33名、臨時職員が12名おります。東部クリーンセンター収集事務所は正規職員74名、臨時職員が3名おります。

岡田委員

今回、臨時職員がしていた仕事を正規職員がするということが、正規職員は正規職員に合った仕事をした方がよいと考える。見解を伺いたい。

廣川課長

当初予算で臨時職員の賃金を1名分多くいただきました理由につきましては、平成23年度当初に臨時職員の勤務時間の短縮ということで、1人あたり30分短縮いたしました。短縮分として、1名の増員をお認めいただきました。予算化させていただいたところですが、下水道維持課から正規職員が人事異動してきましたので、補佐役である臨時職員の採用については、不要であると判断したものでございます。

荒川委員

一般廃棄物処分等業務委託料追加について、スラグの処分量が6,564トンに増えたということだが、どういう流れで資源化されているのか。

廣川課長

市の公共工事で使用していただく場合、無償でスラグを提供しております。50トン以上のアスファルトを使う建設部局、水道部局、下水道部局の道路工事では、仕様書でスラグの使用を取り決めまして、アスファルト業者がスラグを取りに来て工事を行なうというような方法をとっております。県土整備事務所の工事につきましては、1トンあたり100円で引き取っていただきまして、アスファルト工事に使用していただいております。また、民間の方にも1トンあたり100円でお譲りしております。

荒川委員

スラグの資源化については、どこも普及していない。狭山市も廃炉し、灰を引き取ってもらっている。灰溶融炉に係る年間の経費はいくらか。

廣川課長

経費につきましては、2億円から3億円の間で推移しているものと考えております。

荒川委員

以前、資料請求した回答によると、平成22年度は3億2,540万円となっている。これだけのお金をかけている割には資源化が進まないが、

廃炉についての検討はないのか。

廣川課長

先程ご指摘をいただきました狭山市等の県内で廃炉している施設につきましては、表面溶融炉といたしまして、灯油等の燃料を使用し溶融炉を動かしている炉でございます。東部クリーンセンターの電気溶融炉という方式は、県内では東埼玉資源環境組合とさいたま市の西部環境センターというところの2箇所ございまして、現在も稼動しております。それぞれの市で資源化を模索しているところではございますが、現在、県を中心にスラッグの有効利用について、検討を行なっているところでございます。環境負荷の面、最終処分場の延命化を考えると、溶融炉につきましては廃炉という検討には至っておりません。

荒川委員

国も、廃炉にしても補助金を返さなくてよいとなっているが間違いないか。

廣川課長

廃炉については、ある条件を満たした場合には廃炉してもいいという通知がございました。

入沢委員

平成24年度、平成25年度と溶融スラッグ等の処理に3億円を見込んでいますが、資源化が進まないということで、今後増えていくという可能性も

考えているか。

梅崎資源循環推進課主幹 処分に係る費用につきましては、法改正、制度改正、景気状況等により変動がございますが、今後とも3億円以上の費用がかかっていくのではないかと見込んでおります。

荒川委員 特定一般廃棄物の定義は何か。

廣川課長 放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法施行規則が平成24年1月から完全施行されまして、その中で定められたものでございますが、1都9県、ここに在する廃棄物焼却炉は特定一般廃棄物処理施設ということで定義されております。また、そこから出ます焼却灰や飛灰のような焼却残渣につきまして、特定一般廃棄物ということで定められたものでございます。

荒川委員 公共施設については、それなりの信頼性が確保されると思うが、民間事業者が測定する場合、独自で測定するのか、それとも第三者機関が入るのか。

廣川課長 排ガスや灰についての放射性物質濃度の測定につきましては、専門機関

でないと測定できないと思われまますので、産業廃棄物処理業者等の民間事業者では独自の測定は困難ではないかと考えます。

荒川委員

民間の施設も測定を義務化されているのか。

吉澤東部クリ  
ーンセンター  
所長

今回の特措法につきましては、一般廃棄物処理施設、産業廃棄物処理施設も同様の基準で、この施行規則に基づいた維持管理基準が示されており、その中で放射性物質濃度の測定のマニュアルも定められております。先程の分析機関の話につきましても、そういう分析装置を持っている分析機関でないと測定できませんので、一般廃棄物処理施設、産業廃棄物処理施設も同様でございます。

荒川委員

民間の業者が、被災地のがれきを受け入れている可能性はあるか。

廣川課長

通常、ごみの移動の際には自治体に届出や事前協議等が必要になりますので、少なくとも県レベルでは把握することは可能だと考えております。

**【議案第1号当委員会所管部分質疑終結】**

**【意見・採決保留】**

休 憩 午前9時25分

(説明員交代)

再 開 午前9時27分

議案第1号 平成23年度所沢市一般会計補正予算(第6号)

当委員会所管部分

**【意見】**

荒川委員

日本共産党所沢市議団を代表して賛成の意見を申し上げます。塵芥処理費の中で、一般廃棄物処分等業務委託料の灰溶融炉の件について、スラッグの資源化が一向に進まないということ、年間3億円を超えるランニングコストということを考えると、灰溶融炉の廃炉についても、検討の時期にきているのではないかと考えますので、意見として付け足したいと思えます。

**【意見終結】**

**【採決】**

議案第1号当委員会所管部分については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

散 会 午前9時29分